

Secure Cloud and Virtual Reality

2020年9月期
2Q決算補足資料



2020年5月14日

株式会社ピー・ビーシステムズ

(証券コード : 4447)

業績ハイライト

(百万円)

	2019/9 2Q ※		2020/9 2Q		前年同期比		対 通期予想 進捗率
		構成比		構成比	増減	伸び率	
売上高	889	100.0%	1,206	100.0%	317	35.7%	56.1%
売上総利益	294	33.2%	336	27.9%	41	14.1%	
販売費及び 一般管理費	195	21.9%	201	16.7%	6	3.1%	
営業利益	99	11.2%	135	11.2%	35	35.6%	77.3%
経常利益	92	10.4%	134	11.2%	42	45.7%	79.3%
四半期純利益	100	11.3%	107	8.9%	6	6.8%	78.3%

※当社は前年（2019年9月期第2四半期）における個別の経営成績を開示しておりませんが、参考として前年同四半期の個別の経営成績を記載しております。

- ・前年同期比で売上高(**35.7%増**)・営業利益(**35.6%増**)となり、水準が大幅に向上しています。
- ・売上高営業利益率は**11.2%**となり、1Qに引き続き10%を上回って推移しています。
- ・通期業績予想に対する売上高進捗率、営業利益進捗率も「前期実績を参考とした四半期業績進捗率の目安」を上回って順調に推移しています。（次ページにて説明）

2020年9月期 2Q実績

通期業績予想に対する売上高進捗率、営業利益進捗率は四半期業績進捗率の目安を上回って推移しています。特に営業利益の進捗率は顕著な伸びを示しています。

21億5,000万円
(売上高進捗率100%)

1億7,500万円
(営業利益進捗率100%)

通期業績予想

営業利益 1億3,500万円
(営業利益進捗率 **77.3%**)

売上高 12億600万円
(売上高進捗率 **56.1%**)

営業利益 5,518万円
(営業利益進捗率 31.5%)

売上高 5億1,040万円
(売上高進捗率 23.7%)

前期実績を参考とした
四半期業績進捗率の目安

	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	20%	50%	70%	100%
営業利益	15%	60%	75%	100%

2020年9月期 2Q実績(セグメント別)

セキュアクラウドシステム事業

- ・新規獲得地場大手企業のシステム基盤構築によるパフォーマンス大幅改善成功実績
- ・優良SaaS顧客のクラウド基盤拡張と市役所へのテレワーク環境構築 等

(百万円)

	2019/9 2Q※	2020/9 2Q	前年同期比	
			増減	伸び率
売上高	788	1,169	381	48.4%
セグメント損益	174	251	76	43.9%

※当社は前年（2019年9月期第2四半期）における個別の経営成績を開示しておりませんが、参考として前年同四半期の個別の経営成績を記載しております。

エモーショナルシステム事業

- ・4D王既存設置先向けオリジナルコンテンツ制作
- ・イベント向けのレンタル売上
- ・コンテンツ利用料売上 等

(本四半期には4D王本体販売は実現しませんでした。)

(百万円)

	2019/9 2Q※	2020/9 2Q	前年同期比	
			増減	伸び率
売上高	101	37	△ 63	△62.8%
セグメント損益	20	△10	△ 31	—

2020年9月期 2Q受注残

(百万円)

	2020/9 1Q	2020/9 2Q	2020/9 1Q差	2019/9 1Q※	2019/9 2Q※	前年同期差	前年同期比
セキュアクラウドシステム事業	784	438	△345	466	389	+49	112.6%
エモーショナルシステム事業	10	0	△10	67	2	△2	14.4%
合計	795	439	△355	533	392	+46	111.9%

※当社は前年（2019年9月期第2四半期）における個別の経営成績を開示しておりませんが、参考として前年同四半期の個別の経営成績を記載しております。売上の季節偏重により、例年2Q受注残<1Q受注残となります。

セキュアクラウドシステム事業は、2Q売上実績とは異なる新規地場大手企業のシステム基盤刷新案件の獲得、同業パートナーによる東海地方の大手製造業向けシステム基盤構築案件の拡大、その他、企業の旺盛なクラウド基盤構築需要にキャッチアップしたことが受注の増加につながりました。テレワークに本格対応した基幹システム用クラウド基盤の受注や、オラクルビジネス参入の成果によるオラクルソリューションの販売案件などもあります。

エモーショナルシステム事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響によって生じた導入候補の各施設の休業により受注計画に遅延を生じています。しかし、検証実験を経たi4DOHがついに完成し、4Q~来期に向けて新しい需要獲得活動を展開していきます。

2020年9月期 2Q生産力強化状況

(二)

	今期参画技術者数	地元近郊からの参画者数	Uターン・Iターンでの参画者
リファラル採用	3(1)	3	0
求人媒体等からの採用	2	1	1
合計	5(1)	4	1

※()内人数は内定者数(3Q入社)

※名古屋からのIターン

年間10名の技術者採用を目標としていますので、半期で5人という数字は順調ではありますが、昨今の雇用環境の変化もあり、下半期にかけて思ったように採用が進まないことも考慮し、実力のある外注企業2社（福岡1社、東京1社※）との協業を開始しています。また、常駐外注技術者の確保も手配しています。

※アセンテック社とは別の企業です。

成長戦略（セキュアクラウドシステム事業）

- **withコロナ時代を生き抜く“本格的テレワーク”に対する、全国的な需要獲得に、兎に角邁進！**
- **本格的テレワーク導入からの「2025年の崖～DX」を実現する、基幹システムクラウド化案件の獲得**
- **アセンテック社とのアライアンス強化による戦略製品開発・販売体制強化**
- **引き続き、SaaS事業者、優良中堅企業の旺盛なクラウド基盤拡張需要へのキャッチアップ**
- **新規参画技術者確保及び、アライアンスパートナー増加による生産能力拡充**

等々

成長戦略（エモーショナルシステム事業）

- ・ **i4DOHの市場投入と販売実現に、兎に角集中！**
（防災分野、事故対策、仮想観光、教育、等多様な市場の開拓）

他、状況を鑑みながら、

- ・ **エンタメ施設再開に向けたキラーコンテンツ制作構想**

免責事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招来し得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。

当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズ及びユーザーの嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。

また、本資料発表以降、新しい情報や将来の出来事等があった場合において、当社は本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新又は改訂を行う義務を負うものではありません。

本資料に関するお問い合わせ先

〒812-0007 福岡市博多区東比恵3-3-24
株式会社ピー・ビーシステムズ
経営企画部 IR担当
TEL 092-481-5669
MAIL ir@pbsystems.co.jp
URL <https://www.pbsystems.co.jp>